

主要調査結果

1 観光消費動向調査・2 観光客統計

- 観光消費額及び経済波及効果は、いずれも過去最高を記録した令和6年から更に伸び、過去最高を更新。
- 観光客数及び外国人観光客数は、過去最高を更新。日本人観光客数は過去最高のH27（5,202万人）に次ぐ。
- 宿泊客数は、過去最高を更新。修学旅行生数は、コロナ禍前の令和元年(70万人)比で微減*(▲4.3%)となった。
* 全国の修学旅行対象生徒数が減少（令和元年比▲6.0%）していることを考慮すると、令和元年の数値とほぼ同水準。

▶ 観光消費額	<u>2兆 474億円</u> ※1	【過去最高】	▶ 経済波及効果	<u>2兆 2,193億円</u> ※1	【過去最高】
▶ 観光客数	<u>6,279万人</u>	【過去最高】	(内、日本人 5,011万人 外国人※2 1,268万人)		
▶ 宿泊客数	<u>1,659万人</u>	【過去最高】	(内、日本人※1 849万人 外国人※1、3 809万人)		
▶ 修学旅行生数	<u>67万人</u>	(全国修学旅行対象生徒数 300万人)			

3 満足度調査・4 実態調査

- 京都観光に満足した観光客の割合は、日本人・外国人ともに9割を超えるが
残念なことがあった観光客の割合は、日本人が約5割、外国人が約2割で推移。
- 京都に再び訪れたいと思う観光客の割合は、日本人・外国人ともに9割を超える。
- 親しい人に京都観光を勧めたいと思う観光客の割合は、日本人が約8割、外国人が約9割で推移。
- 観光客のリピーター率は、日本人が約6割、外国人が約2割で推移。

▶ 京都観光に満足した観光客の割合 (括弧内：大変満足と回答した割合)	日本人	<u>90.9%</u> (28.2%)	外国人	<u>97.3%</u> (48.2%)
▶ 残念なことがあった観光客の割合	日本人	<u>47.2%</u>	外国人	<u>21.0%</u>
▶ 京都に再び訪れたいと思う観光客の割合 (括弧内：大変そう思うと回答した割合)	日本人	<u>91.2%</u> (53.5%)	外国人	<u>93.4%</u> (64.7%)
▶ 親しい人に京都観光を勧めたいと思う観光客の割合 (括弧内：大変そう思うと回答した割合)	日本人	<u>79.0%</u> (39.2%)	外国人	<u>96.9%</u> (70.1%)
▶ 観光客のリピーター率 (日本人10回以上、外国人2回以上)	日本人	<u>58.0%</u>	外国人	<u>22.0%</u>

※1 令和7年から観光庁の調査結果を用いた推計手法に変更。同手法により宿泊税データを活用した推計を開始した令和元年調査分まで数値を遡及修正。同数値についてはP.3に記載。
 ※2 「訪日外客数」(JINTO)に「訪日外国人の京都府訪問率」(観光庁)を乗じて算出した参考値。 ※3 外国人宿泊客数には日本在住の外国人も含む。

主要調査結果【概要】

1 観光消費動向調査 (P.31～)

▶ 観光消費額、経済波及効果

区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
観光消費額※1	2兆 474億円	1兆8,839億円	1兆2,348億円
経済波及効果※1	2兆2,193億円	2兆 718億円	1兆3,548億円

(参考)

- ・観光消費額は、市民の年間消費支出の約108万人(75.2%)に相当
- ・経済波及効果から推計される観光による雇用効果は約23万人に相当し、市内雇用者の約3人に1人に相当

2 観光客統計 (P.15～)

▶ 観光客数

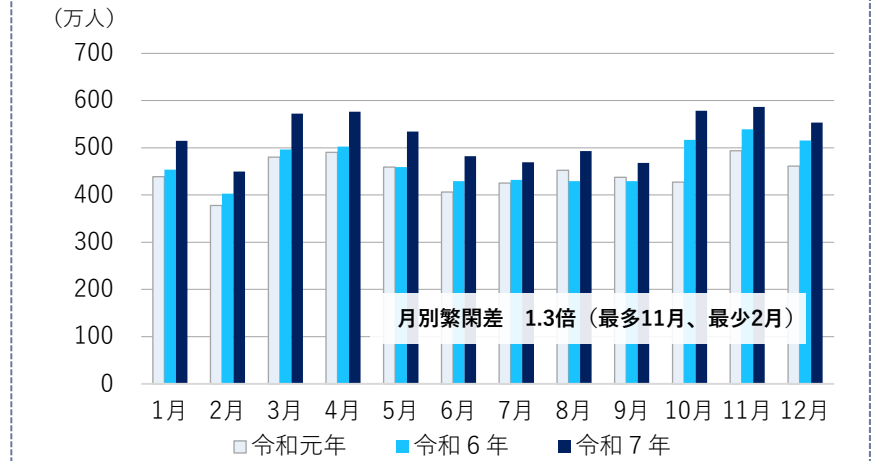
区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
観光客数	6,279万人	5,606万人	5,352万人

(参考) 観光客数内訳 ※2

区分	令和7年総数	日本人	外国人
日帰り	4,620万人 (3,976万人)	4,162万人※1 (3,597万人)	458万人※1 (379万人)
宿泊	1,659万人 (1,630万人)	849万人※1 (921万人)	809万人※1、4 (709万人)
合計	6,279万人 (5,606万人)	5,011万人 (4,518万人)	1,268万人※3 (1,088万人)

括弧：令和6年の値

【図表1】 月別観光客数



▶ 宿泊客数

区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
実人数	1,659万人	1,630万人	1,317万人
延べ人数	2,983万人	2,755万人	2,125万人

・日本人宿泊客数※1

区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
実人数	849万人	921万人	858万人
延べ人数	1,251万人	1,114万人	1,201万人

・外国人宿泊客数※1、3

区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
実人数	809万人	709万人	459万人
延べ人数	1,731万人	1,640万人	924万人

▶ 修学旅行生数

区分	令和7年	令和6年	令和元年(コロナ禍前)
実人数	67万人	75万人	70万人
延べ人数	113万人	118万人	121万人

※1 令和7年から観光庁の調査結果を用いた推計手法に変更。同手法により令和元年調査分まで数値を遡及修正しており、これまでに公表している調査結果の数値とは異なる。修正前の数値についてはP.3に記載。
 ※2 千人以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。 ※3 「訪日外客数」(JNTO)に「訪日外国人の京都府訪問率」(観光庁)を乗じて算出した参考値。 ※4 外国人宿泊客数には日本在住の外国人も含む。

過年度調査結果の遡及修正

▶ 時系列推移表 (P.11～)

(これまでに公表している調査結果)

(万人、億円)

西暦	和暦	観光客数	日帰り	宿泊	日本人宿泊客	外国人宿泊客	日本人観光客	外国人観光客	観光消費額
2019	R1	5,352	4,035	1,317	937	380	4,466	886	12,367
2020	R2	2,159	1,628	531	486	45	-	-	4,535
2021	R3	2,102	1,585	517	512	5	-	-	4,457
2022	R4	4,361	3,392	969	911	58	-	-	10,179
2023	R5	5,028	3,553	1,475	939	536	4,319	709	15,366
2024	R6	5,606	3,976	1,630	809	821	4,518	1,088	19,075
2025	R7	-	-	-	-	-	-	-	-

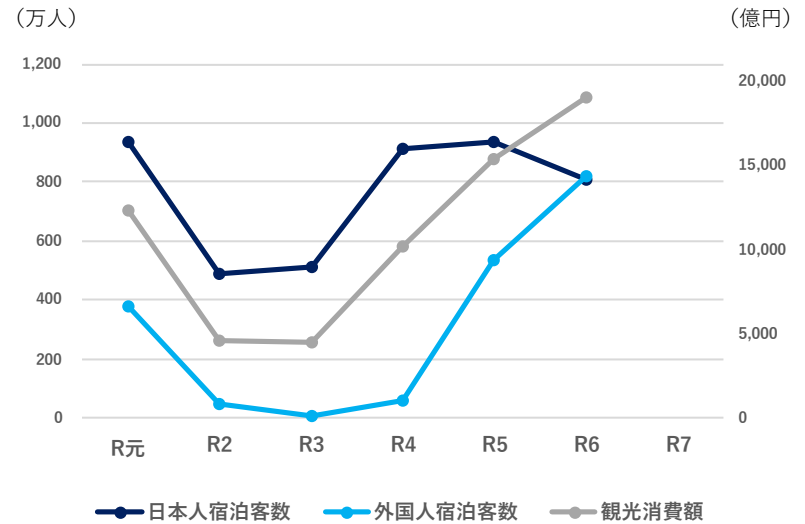
(新たな推計手法で遡及修正した結果)

(万人、億円)

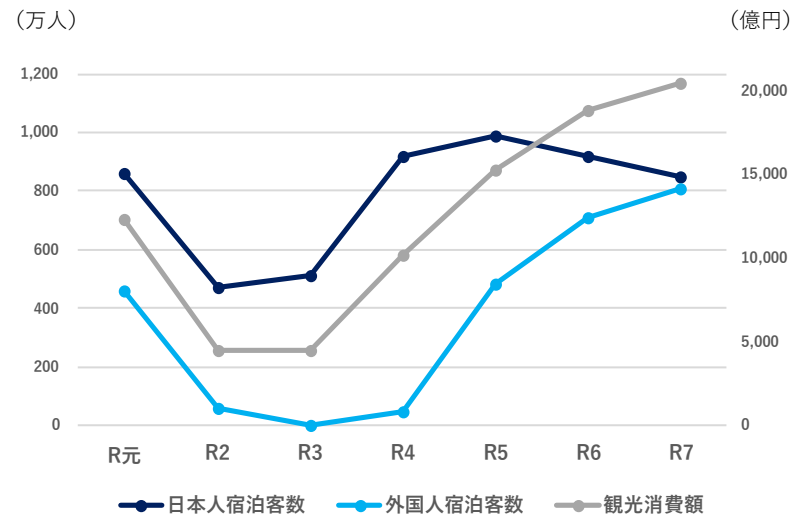
西暦	和暦	観光客数	日帰り	宿泊	日本人宿泊客	外国人宿泊客	日本人観光客	外国人観光客	観光消費額
2019	R1	5,352	4,035	1,317	858	459	4,466	886	12,348
2020	R2	2,159	1,628	531	470	60	-	-	4,528
2021	R3	2,102	1,585	517	513	4	-	-	4,450
2022	R4	4,361	3,392	969	919	50	-	-	10,167
2023	R5	5,028	3,553	1,475	990	485	4,319	709	15,304
2024	R6	5,606	3,976	1,630	921	709	4,518	1,088	18,839
2025	R7	6,279	4,620	1,659	849	809	5,011	1,268	20,474

※ 新たな推計手法で遡及修正した箇所は朱書部分。

【図表2】 これまでに公表している調査結果



【図表3】 新たな推計手法で遡及修正した結果



主要調査結果【概要】

3 満足度調査 (P.35～)

▶ 京都観光の総合満足度

(大変満足・満足・やや満足と回答した割合)

- ・日本人 **90.9%** (R6: 94.6%、R5: 93.9%)
【R7 項目ごとの満足度(上位3項目)】
寺院・神社、名所・旧跡 94.1%、自然・風景 90.0%、伝統文化 86.4%
- ・外国人 **97.3%** (R6: 97.2%、R5: 98.1%)
【R7 項目ごとの満足度(上位3項目)】
まちの清潔さ 98.1%、自然・風景 97.6%、寺院・神社、名所・旧跡 97.5%

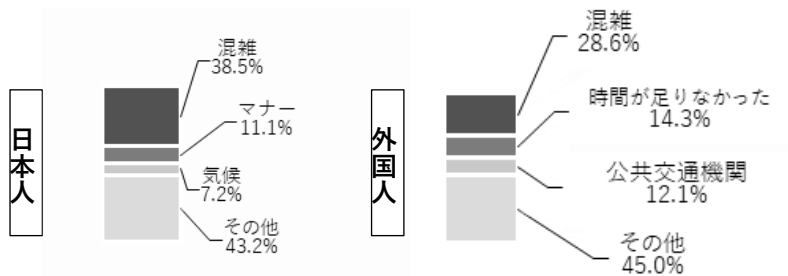
(大変満足と回答した割合)

- ・日本人 **28.2%** (R6: 25.9%、R5: 25.0%)
- ・外国人 **48.2%** (R6: 49.5%、R5: 53.8%)

▶ 残念なことがあった観光客の割合

- ・日本人 **47.2%** (R6: 48.4%、R5: 43.0%)
- ・外国人 **21.0%** (R6: 19.4%、R5: 16.3%)

【図表4】回答者が残念に感じた内容（自由記述上位）



▶ 京都を再び訪れたいと思う観光客の割合

(大変そう思う・そう思う・ややそう思うと回答した割合)

- ・日本人 **91.2%** (R6: 95.4%、R5: 95.8%)
- ・外国人 **93.4%** (R6: 94.2%、R5: 95.2%)

(大変そう思うと回答した割合)

- ・日本人 **53.5%** (R6: 65.3%、R5: 66.4%)
- ・外国人 **64.7%** (R6: 65.9%、R5: 66.0%)

▶ 親しい人に京都観光を勧めたいと思う観光客の割合
(大変そう思う・そう思う・ややそう思うと回答した割合)

- ・日本人 **79.0%** (R6: 85.3%、R5: 87.3%)
- ・外国人 **96.9%** (R6: 97.4%、R5: 98.0%)

(大変そう思うと回答した割合)

- ・日本人 **39.2%** (R6: 49.1%、R5: 49.8%)
- ・外国人 **70.1%** (R6: 73.6%、R5: 74.7%)

4 実態調査 (P.47～)

▶ 京都市への訪問回数

- | 訪問回数 | 日本人 | 外国人 |
|-------|------------------------------------|------------------------------------|
| 10回以上 | 58.0% (R6: 53.0%、R5: 56.5%) | 22.0% (R6: 24.1%、R5: 26.7%) |
| 初めて | 2.0% (R6: 2.5%、R5: 2.0%) | 78.0% (R6: 75.9%、R5: 73.3%) |
| 2～9回 | 40.0% (R6: 44.5%、R5: 41.5%) | |

▶ 市内での宿泊日数

- | 宿泊日数 | 日本人 | 外国人 |
|------|------------------------------------|------------------------------------|
| 3泊以上 | 16.4% (R6: 17.6%、R5: 18.6%) | 68.3% (R6: 68.6%、R5: 65.9%) |
| 1～2泊 | 83.6% (R6: 82.4%、R5: 81.4%) | 17.3% (R6: 18.2%、R5: 20.3%) |
- ※ 市外での宿泊者は14.4% (R7)

▶ 混雑を避けるために意識してとった行動の有無 (R7新規)

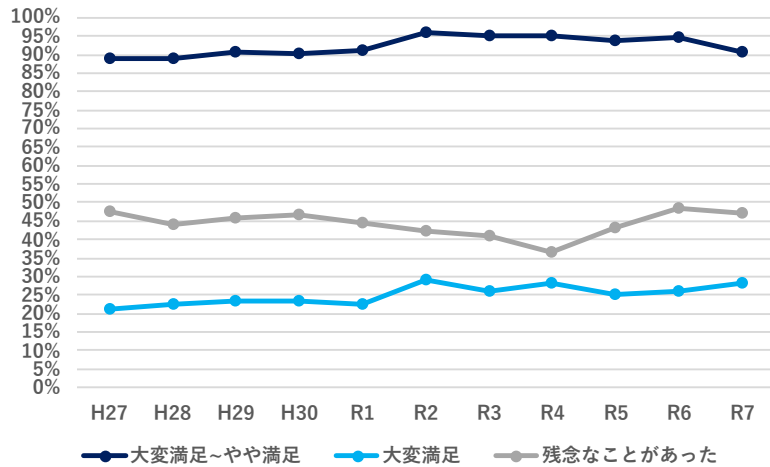
- | 行動の有無 | 日本人 | 外国人 |
|-------|--------------|--------------|
| ある | 50.9% | 54.0% |

5 持続可能な観光に対する意向調査 (P.77～)

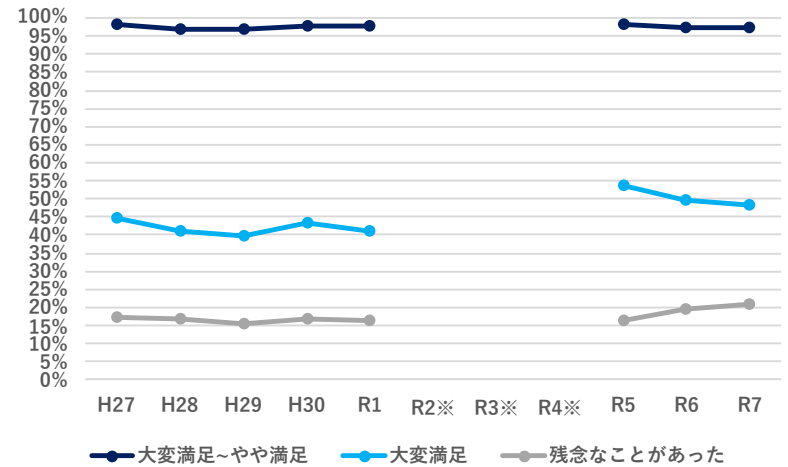
▶ 訪問先の地域を思いやる行動をとった観光客の割合

- ・日本人 **58.8%** (R6: 67.6%、R5: 67.0%)
【R7 具体的な行動内容(自由記述上位)】
ごみを持ち帰る 37.5%、観光地・地元生活者への配慮 24.6%、マナーを守る 20.6%
- ・外国人 **78.0%** (R6: 75.5%、R5: 80.2%)
【R7 具体的な行動内容(自由記述上位)】
観光地・地元生活者への配慮 29.9%、敬意を払う・礼儀正しくする 22.4%、マナーを守る 20.3%

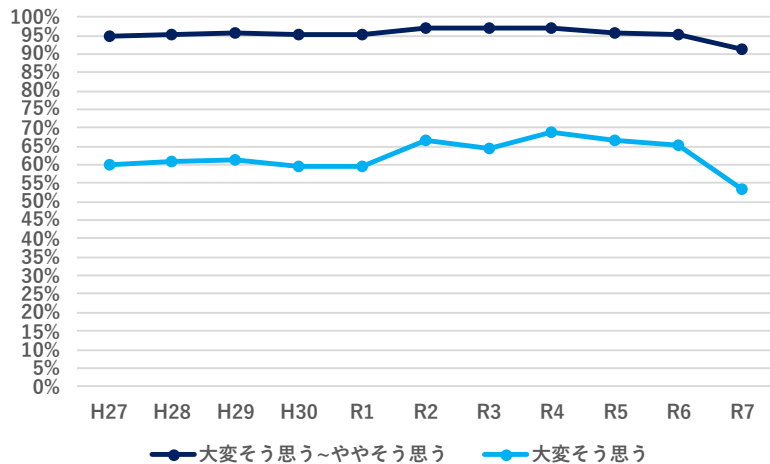
【図表5】 京都観光の満足度・残念度（日本人）



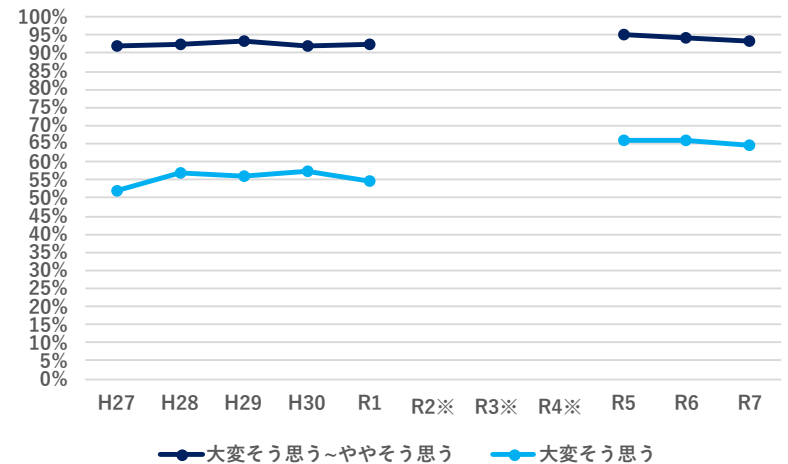
【図表6】 京都観光の満足度・残念度（外国人）



【図表7】 京都を再び訪れたいと思う観光客の割合（日本人）

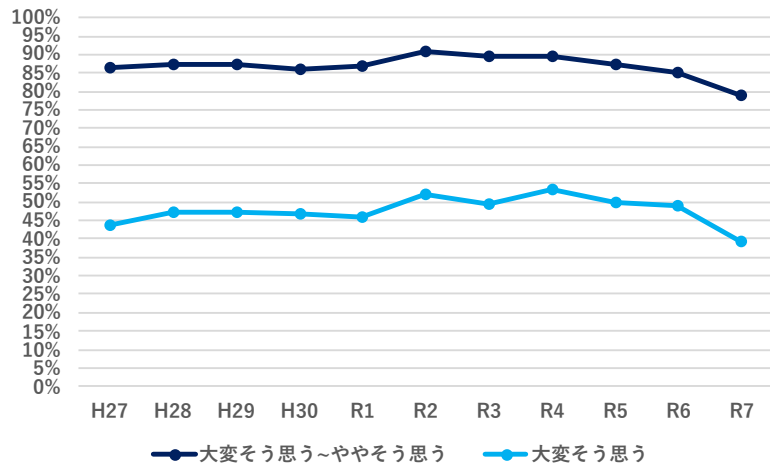


【図表8】 京都を再び訪れたいと思う観光客の割合（外国人）

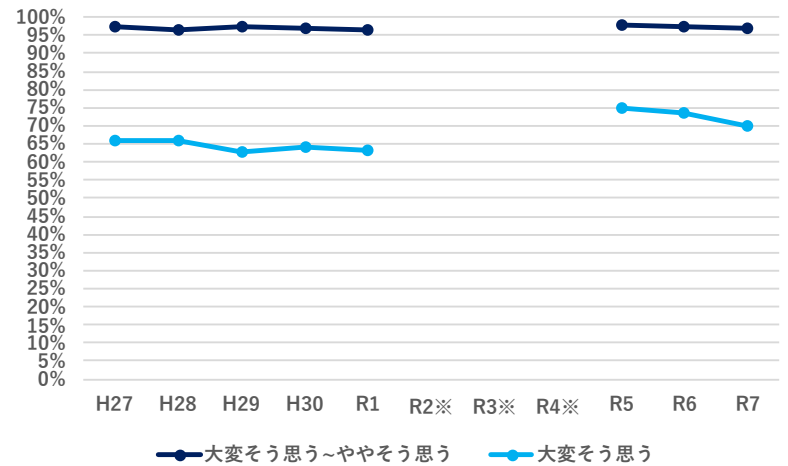


※ コロナ禍の影響により、令和2年、令和3年及び令和4年は、外国人調査を実施していない。

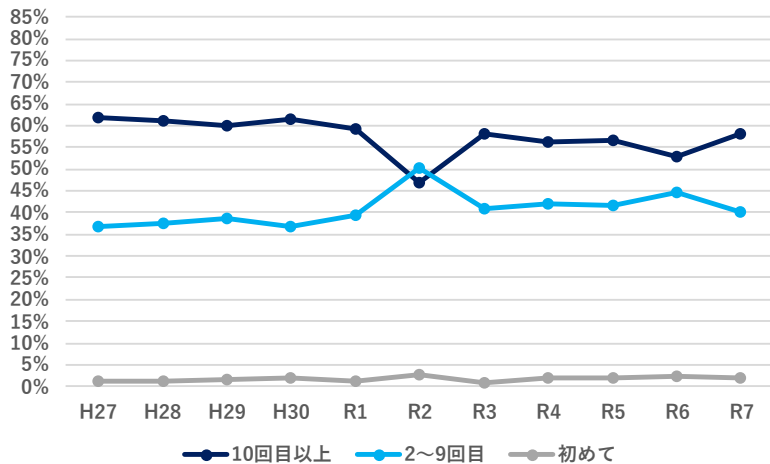
【図表9】 京都観光を勧めたいと思う観光客の割合（日本人）



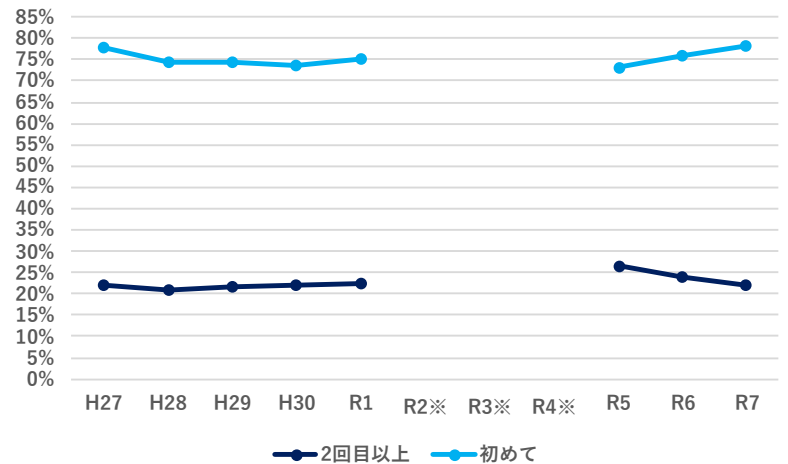
【図表10】 京都観光を勧めたいと思う観光客の割合（外国人）



【図表11】 京都市への訪問回数（日本人）



【図表12】 京都市への訪問回数（外国人）



※ コロナ禍の影響により、令和2年、令和3年及び令和4年は、外国人調査を実施していない。

【参考】 京都観光総合調査 調査手法 【概要】

- 京都市では、「京都観光総合調査」について、昭和33年から65年以上の長きにわたり、内容を充実させながら実施してきた。現在の調査手法は以下のとおり。

観光客の定義

観光客とは、観光目的だけでなく、市外在住で通勤、通学以外の目的（ビジネス、買物、イベント、観劇、スポーツ、友人・知人訪問等）で入洛した人全てを含む

観光客数調査

「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年12月観光庁策定）※に基づく手法により調査し、各月及び総数を推計。

※ 京都市の都市特性を反映させながら全国共通基準にも合致する手法で実施。

全国共通基準	観光地点を訪れた入込客数を基に、観光客へのアンケート調査の結果を活用し推計
本市の手法	京都市域全体を一つの観光地点と見立て、入洛利用交通手段別（鉄道、高速バス、自動車）の入込客数を基に、観光客へのアンケート調査の結果等を活用し推計

宿泊客数、修学旅行生数調査

本市宿泊税データを基に、観光庁から提供される宿泊客数データや京都市内の宿泊施設へのアンケート調査の結果を活用し推計。

消費動向、満足度、実態、持続可能な観光に対する意向調査

無作為に調査対象者を抽出、郵送回答や面接調査によりアンケートを実施。

区分	調査
調査時期	冬期（2月）、春期（5月）、夏期（8月）、秋期（11月）
調査場所	【日本人】市内の主要な鉄道駅、観光施設等、全12箇所 【外国人】市内の主要な観光施設等、全5箇所
調査項目	性別、年齢、出発地、利用交通機関、日数、目的、動機、市内訪問地、観光消費額、満足度、感想、サステナブルな旅行に対する意向 など
令和7年調査のサンプル数	【日本人】 4,734 【外国人】 1,734

- これに加え、「京都観光に関する市民意識調査」、「京都観光事業者実態調査」及び「京都観光従事者実態調査」を実施し、京都観光を取り巻く現状の総合的な把握に努めている。